

「子どもと ゆう&ゆう」10月号(愛知県教育振興会発行)

親子ふれあい活動の様子などが掲載されました!



「はい、どうぞ。」
2匹のヤギはむしゃむしゃと雑草を食べ、大活躍!



「そろそろ! その親子!」
学校の周りにある溝の清掃も。保護者にコツを教わりながら、作業を進める。

有志が集まった約180人みんなが力を合わせ、1時間で校庭をきれいにすることができた。

「お母さん、すごい雑草!」
「本当だ、きれいにしないとね。」
六月上旬、曇りどけない土曜日。そんな親子の会話が、祖父江小学校の運動場から聞こえてきた。
この日開かれた「親子ふれあい活動」は「地域学校協働活動」の一つ。子どもや保護者、地域のかた、先生が一緒に活動することで、つながりを深める。参加者たちは校庭の隅々や遊具近くなど、担当場所に分かれ、除草作業を開始。大人も子どもも腰をおろし、雑草を引き抜いていく。そのたびに、草や土の香りがたちこめる。
「あ、ヤギだ!」
「うちのヤギも参加させてくれるかな。」
地域のかたが連れてきてくれた珍しい仲間、子どもたちは興味津々。口もとに草を差し出したり、顔をなでたり。そんな様子に大人たちは、思わず目を細めた。



地域学校協働活動の一環として、保護者みんなが活動する運動場の除草作業を行いました。



たくさんの目に見守られながら



地域の中で 他にもこんな活動を

「きれいになった!」
2月に行われた「三世代ふれあいまちつき大会」。地域のかたがたに教えてもらいながら、つきたてのお餅を味わった。

10月には「地域清掃活動」として、各進学団の集合場所付近を子ども、地域のかた、保護者が協力して掃除する。



「楽しかったね。」
学校をあとにする親子からは、そんな言葉が聞こえてくる。



水風船釣りに挑戦! こよりが切れてしまった子も、釣れるまで再チャレンジできる。

学校HPはこちら!



カマヨレポート 学校、地域から



除草作業の後、「親観の会」のかたが用意してくれたアイスをみんなで食べる。熱くなった体が冷えていく。



先生と保護者のビーチボールバレー対決も、恒例行事の一つ。



「それっ!」
合計得点50点を目標として投げつけていく。初めて遊ぶモルックに、子どもも大人も盛り上がった。

を学んでいるのだらう。
活動を終えた子どもたちの表情は「楽しかった」という満足そうなのから、「もうと遊びたかった」というまでさまざま。保護者や地域のかたがたの温かいまなざしに現われたのが、一緒に活動したとき。それは、学校や地域を大切に思う子どもたちも心も育かている。

祖父江小では「地域とともにある学校」づくりを進めていることもあり、地域と子どもたちが関わる機会が多い。学区に住むかたがたに学校では学べないことを教わったり、自分たちの暮らす町の清掃をしたりする中で、子どもたちは多くのこと

作業の後は、子どもたちお持ちかねのレクリエーションの時間。毎年恒例のビーチボールバレーと水風船釣りで遊ぶのだ。それに加え、今年は保護者のかたが持ってきた「モルック」というアウトドアスポーツも、子どもたちは倒したピンを得点を計算し、次の狙いを定める。「やっ!」ほくほく勝ち! 「よし、じゃあ他の人にもルールを教えてあげて。」
「いいよ!」
一層遊んだ子が、今度は他の参加者にも伝える。こうして広がり深まっていく関わりが、みんな楽しんでるひとときをつくっていた。